

水は生命の源です

～ 第 56 回水道週間 ～ 6 月 1 日(日)～ 7 日(土)

今年のスローガン「おいしいな、だいじなお水、ごくごく」

水道週間は、国民が水道に対する理解と関心を深めることにより、今後の水道事業が発展していくことを目的に、厚生労働省および各都道府県が主催して、毎年設けられているものです。

訓子府町の水道は、今やほとんどの町民の方々が家庭や公共施設、民間施設で利用するまでに普及しており、健康で文化的な生活やさまざまな社会活動を支えるのに必要不可欠な生活基盤として、重要な役割を果たしています。

今後もより質の高い信頼される水道事業を構築し、安全で良質な水を安定的に供給できる水道の整備を促進するとともに、災害に強い水道づくりを進めていきます。

上下水道課では水道を使用される方々が安心して飲める水を提供するため、毎月定期的に水質検査を行っています。

平成 25 年度における主な水質検査項目についての検査結果は下表のとおりです。ここに掲載している項目のほか、水道法に定められているすべての項目についても水質基準を満たしています。

水質検査結果表（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月までの平均値）

分類	項目	基準値	大谷水系	柏丘水系	弥生水系	開盛水系	駒里水系
			大谷浄水場	西富水源	弥生水源	開盛浄水場	駒里水源
健康に関する項目	一般細菌	100 個 / <i>ml</i> 以下	0	0	0	0	0
	大腸菌	検出されないこと	未検出	未検出	未検出	未検出	未検出
水道水が有すべき性状に関する項目	硝酸態窒素 亜硝酸態窒素	10 mg / <i>ℓ</i> 以下	0.44	3.4	4.0	0.05 未満	0.05 未満
	鉄およびその化合物	0.3 mg / <i>ℓ</i> 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.006	0.005 未満	0.005 未満
	塩化物イオン	200 mg / <i>ℓ</i> 以下	3	4.2	5.3	7.9	1.3
	カルシウム マグネシウム (硬度)	300 mg / <i>ℓ</i> 以下	69	73	68	33	47
	有機物 (全有機炭素)	3 mg / <i>ℓ</i> 以下	0.6	0.7	0.6	0.3 未満	0.3 未満
	PH 値	5.8 ～ 8.6	7.5	7.1	7.0	7.1	7.0
	味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	色度	5 度以下	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満
	濁度	2 度以下	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満
	残留塩素	0.1 mg / <i>ℓ</i> 以上	0.28	0.27	0.27	0.25	0.28

☆ 上下水道料金納入のお願い

上下水道料金は毎月 10 日に納付書を発行し、25 日納期限となっていますので、期限内納付にご協力ください。

上下水道課 (☎ 47-2118 役場 1 階 窓口 5 番)

町民に信頼される
おいしい水の供給をめざして

白崎さんに旭日双光章 (春の叙勲)

平成 26 年春の叙勲で、白崎隆誠さん(旭町)が旭日双光章(教育功労)を受章しました。白崎さんは、大学卒業後の昭和 34 年から昭和 60 年まで公立高校の教諭を務め、この間、昭和 40 年から 11 年間訓子府高校で教壇に立ちました。また、昭和 52 年からは、隆光寺住職に。

昭和 63 年 10 月から 20 年間にわたり、町教育委員会委員、このうち平成 5 年 10 月から平成 20 年 9 月までの 15 年間は教育委員長として教育行政の推進に中心的な役割を果たしました。

「訓子府町は教育熱心な町で、教育に対する理解が深いですね」と言い、長く教育に携わってきた「いつまでも、町の宝である子どもたちと接することができている。教育は人と接することが大切。人づくり、まちづくり、教育はコミュニケーションからですね」と話していました。

今回の受章は「私一人のものではありません。教育関係者など多くの皆さんや家族の支えがあつて務めることができました。多くの方たち皆さんでいたものであります」



「す」

受章おめでとうございます

浜出さんに瑞宝単光章(春の叙勲)

平成 26 年春の叙勲で、浜出勝治さん(日出町)が瑞宝単光章(消防功労)を受章しました。浜出さんは、昭和 36 年に訓子府石灰工業に入社。昭和 41 年に訓子府消防団(当時の日出分団)に入団し、平成 20 年 11 月に訓子府石灰を退職したあとの平成 21 年 3 月末に消防団を退団しました。この間、副分団長や分団長なども歴任されました。

「入団は、会社や先輩団員などの勧めがあり、決意しました」と言い、「つらく、悲しい場面を何度となく経験しました。そんな中で、被害を最小限にとどめることができたときに、ほっとしたことを覚えています」

「近年は、団員不足、団員の高齢化が進んでいます。今年、若い人が 8 人新しく入団したと聞いています。喜ばしいことです。後進の指導など、できる範囲でお手伝いしたい」

今回の受章は「誰でもが、いただけるという章ではないですから、大変光栄です。会社や多くの先輩、家族などの支えがあつて 43 年も務めることができました」と話していました。



花岡さんに瑞宝単光章(危険業務従事者叙勲)

平成 26 年危険業務従事者叙勲で、花岡隆男さん(東幸町)が瑞宝単光章(消防功労)を受章しました。

花岡さんは、昭和 40 年 8 月に当時の訓子府消防団常備員(常勤の消防団員)となり、昭和 47 年 4 月に北見地区消防組合が設立されると同時に組合の消防士となりました。消防士長、消防司令補などを経て、平成 14 年 4 月 1 日に組合の消防司令、組合消防署訓子府支署支署長となり、平成 15 年 3 月末に退職されました。「団の幹部の方から町民の生命と財産を将来にわたって守っていく仕事に就かないかと誘われ、入団しました。入団したばかりの年の住宅火災では、足が震えて消防車がなかなか運転できなく、先輩に励まされ現場に向かったことを覚えています。危険な場面や、悲しい結果を目の当たりにしたことも多数ありました」



今回の受章は「大勢の先輩、同僚、後輩そして家族の支えがあり、続けられました。みんなでいただいたものと考えています」と話していました。